

トピックス

● 中瀬製錬所の設備更新

2020年度のアンチモン事業における設備投資は生産設備の更新や拡充に86百万円、用水ポンプなどその他設備の更新に56百万円等、総額は162百万円となりました。中瀬製錬所(兵庫県養父市)において、主製品である三酸化アンチモン製造炉の周辺設備の更新を行うとともに、創業以来稼働してきた工場用水の供給設備については、建屋を含めて全面更新を行いました。これらの一連の更新工事により、生産性の向上を図り、安定的な生産活動を行ってまいります。また、2021年度には受電設備の更新を行う予定で、工事に着手しております。



● 子会社の日本アトマイズ加工株式会社の軟磁性材料生産能力増強

日本アトマイズ加工のつくば工場(茨城県牛久市)では、電子部品向けの各種金属粉末を生産しております。電子機器の高性能化により、パワーインダクタ向け軟磁性材料金属粉末の需要が拡大しており、同社ではこれに対応するために、つくば工場の工場棟内の改修と工場棟に接するかたちで生産工程の後工程となる分級室の増築を行っていましたが、このたび完工いたしました。現在設備導入中で、これによって同社の軟磁性材料の生産能力が約3割増強されることとなります。



会社概要 (2021年3月31日現在)

社名	日本精鉱株式会社 NIHON SEIKO CO., LTD.
設立	1935年6月11日
本社所在地	東京都新宿区下宮比町3番2号 電話03-3235-0021(代表)
資本金	10億18百万円
事業内容	各種アンチモン製品等及び 各種金属粉末等の製造・販売
証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人
従業員数	連結 226名 単体 88名
連結子会社	日本アトマイズ加工株式会社 千葉県野田市 (各種金属粉末等の製造・販売) 日錫精礦(上海)商貿有限公司 中国上海市 (各種アンチモン製品等の販売)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-232-711(フリーダイヤル)
株式に関するお手続きについて(住所変更・買取請求等)	1. 証券会社等の口座をご利用の場合 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 2. 証券会社等の口座をご利用でない場合(特別口座) 三菱UFJ信託銀行(電話0120-232-711)までお問い合わせください。
公告方法	電子公告< https://www.nihonseiko.co.jp > (ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)



第126期 報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

株主の皆様へ

日本精鉱グループは
たゆまぬ改善による
事業基盤づくりを
おこなってまいります



代表取締役社長
渡邊 理史

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に影響を受けられた方々に謹んでお見舞い申し上げます。新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

さて、当社グループ第126期(2020年4月1日～2021年3月31日)においては、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により社会経済活動が大きく抑制されました。下期からは、自動車や半導体関連産業などでの生産販売活動は持ち直してきましたが、繊維産業や建設関連資材分野などでは低迷が続くなど、産業ごとにばらつきがありました。一方、感染予防対策から生じたワークスタイルの変化により、テレワークなどに代表される仕事や業務の効率化と働き方の改革を目指すデジタルトランスフォーメーションに活用される電子機器産業は堅調さを維持しています。

このような環境下、当社グループは感染予防対策を実行しつつ、お客様のニーズに即した製品の安定的な生産を行いながら、国内外での販売力の強化に努めるとともに、コストダウンの実行、製造力及び技術力の向上、様々な工程や業務での無駄の排除及び改善などに取り組んでまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は前年度比3.1%増収の11,247百万円、営業利益は同166.4%増益の1,194百万円、経常利益は同178.5%増益の1,207百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同184.3%増益の813百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

連結財務ハイライト

● 売上高

11,247百万円



● 営業利益

1,194百万円



● 経常利益

1,207百万円



● 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

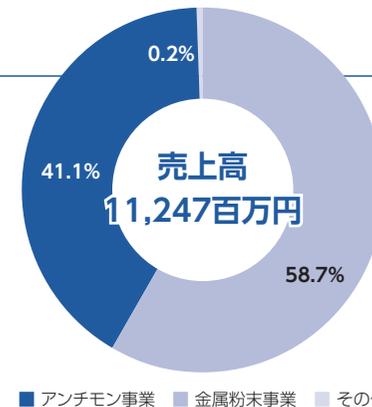
813百万円



セグメント別概況(連結)

● アンチモン事業

主製品の三酸化アンチモンは難燃助剤、触媒など、広範な産業分野に使われています。下期に自動車、家電向けは持ち直しましたが、繊維向けなどは低迷が続く、販売数量の減少により、売上高は前年度比17.8%減収の4,620百万円、セグメント利益は同29.6%減益の71百万円となりました。



● 金属粉末事業

電子部品向けはテレワークなどの急速な普及でノートPCやタブレットなどの通信機器端末需要が堅調でした。主に自動車部品に使われる粉末冶金向けは下期に持ち直しました。電子部品向け販売数量の増加により、売上高は前年度比25.3%増収の6,604百万円、セグメント利益は同261.2%増益の1,093百万円となりました。

連結財務諸表

● 連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2021.3.31)	前連結会計年度 (2020.3.31)
資産の部		
流動資産	7,759,378	6,497,675
固定資産	4,453,704	4,287,243
(有形固定資産)	3,966,821	3,892,719
(無形固定資産)	81,404	46,520
(投資その他の資産)	405,477	348,003
資産合計	12,213,082	10,784,918
負債の部		
流動負債	3,588,645	2,817,888
固定負債	658,020	680,942
負債合計	4,246,665	3,498,831
純資産の部		
株主資本	7,934,050	7,273,112
その他の包括利益累計額	32,366	12,975
純資産合計	7,966,417	7,286,087
負債純資産合計	12,213,082	10,784,918

● 連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	当連結会計年度 (2020.4.1～2021.3.31)	前連結会計年度 (2019.4.1～2020.3.31)
売上高	11,247,358	10,913,552
売上総利益	2,117,480	1,384,714
営業利益	1,194,816	448,449
経常利益	1,207,868	433,681
税金等調整前当期純利益	1,183,990	432,033
当期純利益	813,684	286,170
親会社株主に帰属する当期純利益	813,684	286,170